

Voilà! C'est la vie!

ボワラ
カメルーンからこんにちは
2023年6月 №16 (seize)
ビ
JICA 海外協力隊 2021 年度 3 次隊 小島由紀子

にっぽん×カメルーン交流イベント

私の住むバフィアの子供たちは「コンニチハ」と日本の言葉でいつもあいさつしてくれます。でもじつは彼らは遠く離れた『日本』のことをあまりよく知りません。大人であっても、日本がどこにあって、どんな言葉を話し、どんな文化の国なのかを知っている人はそんなに多くはなさそうです。



ニッポンといえば...
「そんごく」「ナルト」??
どこにあるのかは分からないな。

あいさつは「ニーハオ！」
「カンフー」「ジャッキーチェン」もニッポンでしょ?
トヨタ・ミツビシ・スズキの車はニッポンの会社!
ニッポンはよい車をつくっているよね。



そこで、少しでも日本のことを知って、興味をもってもらえたらいいな...と思い、バフィアの人たちに協力してもらいながら『にっぽん×カメルーン交流会：エキスポ・ジャポン』を開きました。

なんと、会場には500人くらいの子供たちや先生方があつまってくれました!



『日本〇×クイズ』...日本は魚を生で食べるの? 4つの季節があるの?と、みんなびっくり!

『箸でマカロニつかみ体験』...2本の棒でつかむなんて、むずかしい!!! じょうずにできると「やったー!」と笑顔でハイタッチ♪先生方もやりたいなあと後ろからのぞいていました。みんな、『箸を使って食べる』ことに興味深々(^^)





『ひらがなで名前プレゼント』…いちばん人気のコーナー！
日本語で書いた自分の名前を大事にもって来ていました♡



『日本の写真展&作品展』…日本のおせち料理や桜の写真など、カメルーンでは見たことのない日本の風景に見入っていました。札幌の小学校の6年生が送ってくれた水墨画の作品も大人気。海をこえてカメルーンの人たちにしっかり届きました♪ありがとう！



子どもたちが、バフィアの伝統ダンスや劇などをひろうしてくれました。カメルーンのダンスのステップや肩や腰の振り方はとても真似できない！とてもすてきなダンスでした★



最後は、フランス語と日本語で『幸せなら手をたたこう』を大合唱。日本のことを知ってもらうだけでなく、一緒に歌ったり遊んだり話したりすることを通して、参加したみんなが、にっこり笑顔になりました♪
国や文化、言葉がちがっても、いっしょに笑顔を言葉交わせることは、とてもすてきな思い出でした！

日本でも、みんなができる「国際交流」があるはず！どこで、どんなことで国際交流ができるか考えてみてね



カメルーンでみーっけ！



この写真をじっくり見て考えてみよう！ バイクの後ろについているのは なにかな？



バイクをよく見ると、後ろに葉っぱが さいてあります。これは運転手があえて付けているものです。でも、飾りではありません。雨がたくさん降ったあとや、乾燥した暑い日が続いていて砂ほこりが多い時期などに、このようなバイクをよく見かけます。

実はこれ、「泥よけ・砂ほこりよけ」として付けているのです！ 私の住んでいるバフィアには、日本では当たり前のようにあるコンクリートの道路もありますが、多くの道は舗装されていない、赤土の道です。

そのため、雨がたくさん降ると、いっきに道路に水が流れて川のようになったり、道路のあちこちに水たまりができたりします（まるで雨の日の学校のグラウンドのよう！）。また、乾燥した暑い日が続くと、車やバイクが通っただけで砂ほこりが舞い上がり、街を歩いて家に帰ると体中が砂だらけになっていることもあります。そこをバイクで走るとなると、バイクの後ろについている泥よけだけでは足りません。

さらに、バフィアではバイクが街の人たちの大事な交通手段。『バイクタクシー』といって、バイクでタクシーの仕事をしている人もたくさんいます。だからこそ、バイクの後ろに乗った人が少しでも気持ちよくバイクに乗れるように、まわりにある木の枝を使って、バイクの後ろにさすことで、泥や砂がたくさんはねるのをよける工夫をしているようです。



よくよく見ていると、バイクによって使っている葉っぱがちがうので、おしゃれにも見えておもしろいです。身近なものを使って工夫する、カメルーンの人たちのすてきな知恵ですね。